

サンホセ日本人学校・友の会だより

2015年8月～9月

日本よりも日本らしく、世界に羽ばたくグローバル人材を育成します

1 職員研修「現地校訪問」

□8月20日(木)、21日(金)

職員研修で現地校のコレヒオラスアメリカス校、インターナショナル校のICS校(写真)を見学しました。共に、明るい環境の中で、子どもたちが伸び伸びと勉強していました。本校には、卒業後もコスタリカで学業を続けようとする生徒がいます。このような子どもたちのためにも、現地の学校を実際に見学して正しい情報を得ておくことは、私たちの大切な研修です。



2 P T A等の体育館清掃

□8月23日(日)

24日から始まる2学期を前に、保護者、教員、児童生徒、大使館、JICAの方々等が集まり、体育館清掃をしました。少しでも経費を削減しようと始めた取り組みですが、一堂に集まり一緒に汗を流すことで、学校を中心とした団結力が一層高まっているようです。協力してくださった皆様に感謝です。



3 身体測定「おおきくなったかな？」

□8月25日(火)

子どもたちは、身体計測で身長や体重を計測してもらい、自分の成長を実感していました。教員は、子どもたちの健やかな成長に異常はないかを見守っています。そして、計測前は「おねがいします」、計測後は「ありがとうございました」とあいさつをさせ、礼に始まり、礼に終わる日本の教育を徹底しています。



4 サンアンソニー校との交流授業「音楽」

□8月31日(月)

サンアンソニー校へ訪問して、ペアの子どもたちと一緒に音楽の授業交流をしました。ペアを組んだ子どもとは3回目の交流となり、仲良くコミュニケーションをとっている姿が見られました。授業では、ダンスを取り入れるなど、日本と異なる授業形態で学んでいました。このような異文化体験を通して、子どもたちの視野が世界へと広がっていきます。



5 避難訓練

□9月1日(火)

今回は、休み時間に地震が発生したという想定で、子どもたちの判断で避難の初期行動がとれるか訓練をしました。小学部高学年以上は、教員の指示が無くても適切な行動がとれていましたが、低学年の子どもたちは、どのようにすればよいか、よく分かっていなかったようでした。今後の指導がより一層必要なことがわかりました。



6 作文発表会

□9月5日(土)

作文発表会で自分の書いた作文を発表しました。心に感じたことや自分の考えを文字に表し、それを何度も推敲して、聞く人に伝わるように、思いを込めて発表します。日本語に触れる機会が少ない子どもたちにとって大切な学習です。子どもたちは、多くの保護者を前にして、とても緊張していたようですが、一人ひとりが堂々と、素晴らしい発表をしました。



7 進路学習講演会

□9月22日(火)

講師にPTA会長の木下フランク様をお招きして、進路講演会を実施しました。日本とコスタリカの文化・価値観の違いを、自分が子どもの頃に体験した目線でお話いただきました。日本とコスタリカでご苦労され、それらを前向きに乗り越えられてきた話は、子どもたちにとってとても良い刺激となって伝わりました。



8 持久走記録会

□9月24日(木)

子どもたちの体力向上は、日ごろ運動量の少ない子どもたちにとって重要な課題です。約1か月前から体育の授業で取り組み始め、休み時間や昼休みも走りました。週1回の測定会では、子どもたちのタイムがどんどん向上していき本番の記録会では、多くの保護者が見守る中、全力で走り抜きました。



9 監視カメラが設置されました

□9月30日(水) 日本人会と海外子女教育振興財団のご支援により、校地内に12台の監視カメラが設置されました。社会情勢が懸念される中、常時、ガードマン室と職員室で校内の様子や外部からの侵入者を監視できるようになりました。子どもたちの安全を守るために、今後大切に役立てて参ります。併せて、友の会の皆様のご支援にも、大変感謝しております。引き続きよろしく願いいたします。